

様式第1号（第3条の2関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 12 日

岩手県知事 達増 拓也 様

提出者

住 所 岩手県紫波郡矢巾町大字西徳田6-177

氏 名 株式会社 佐々木組

代表取締役社長 佐々木和久

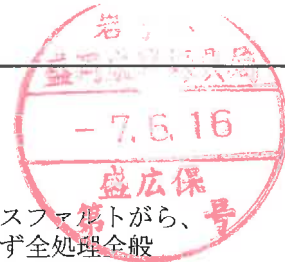
電話番号 019 (697) 2223

循環型地域社会の形成に関する条例第9条の2第1項の規定により、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 佐々木組
事業場の所在地	岩手県紫波郡矢巾町大字西徳田6-177
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 433,249千円
③ 従業員数	26名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラ類、金属くず、コンクリートがら、アスファルトがら、 その他がれき類、ガラス・陶磁器くず、木くず全処理全般



(A4)

※ この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業所が対象です。
(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 産業廃棄物担当部署は本社経理部に設置している。廃棄物管理担当者は現場担当者の依頼により委託契約の締結、産業廃棄物管理票の交付管理をする。監督官庁へ各種奉告する。			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラ類、金属くず、コンクリートガラ、アスファルトガラ、 木くず、ガラス・陶磁器くず 分別して現場から直接処理業へ委託する		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラ類、金属くず、コンクリートガラ、アスファルトガラ、 木くず、ガラス・陶磁器くず 当社工程会議等を利用して産業廃棄物の更なる社員教育の徹底に努める		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 該当なし	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組)	

(第5面)

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

計 画計 画

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

現狀

計画

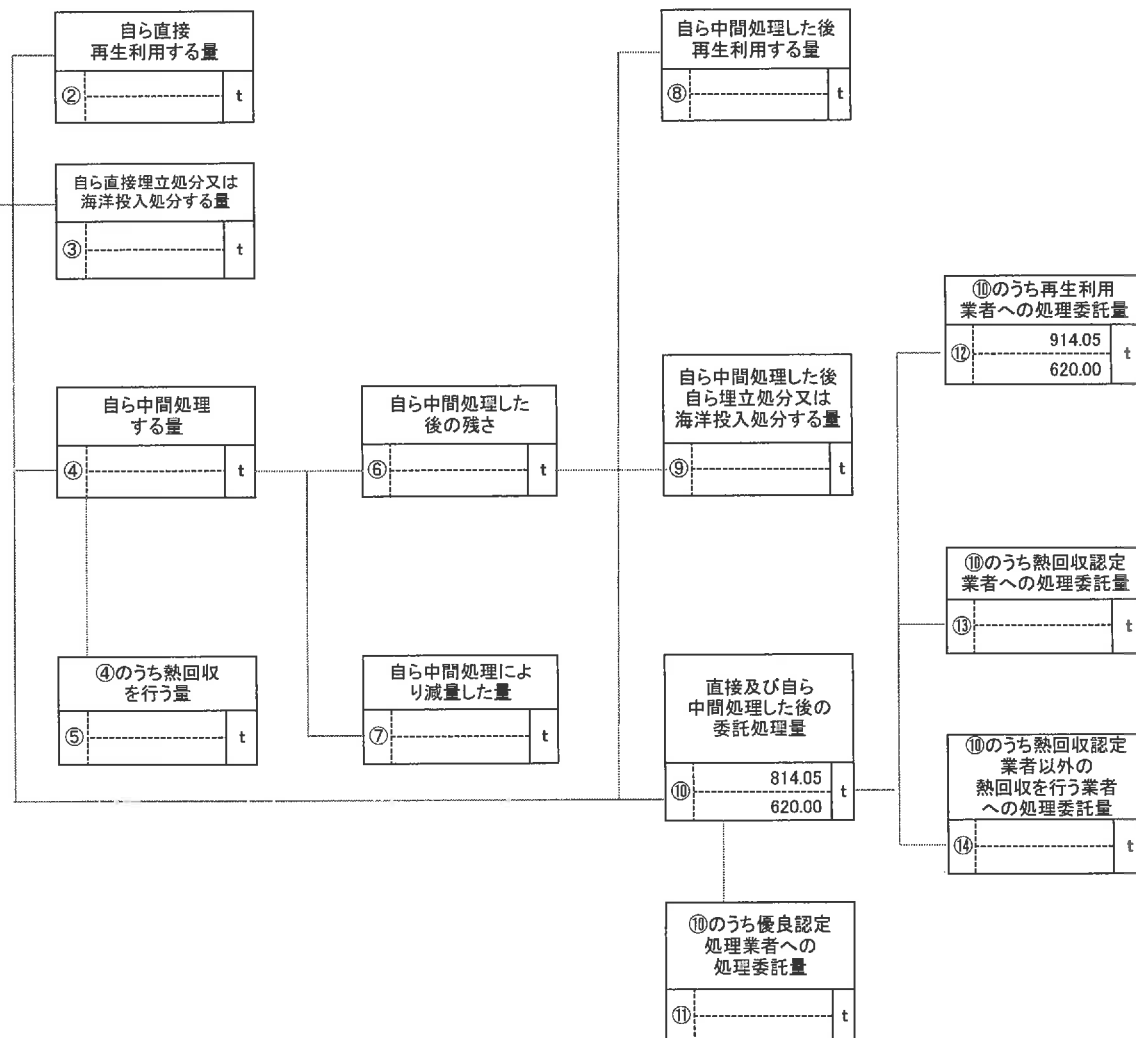
(産業廃棄物の種類: 全体)

排出した産業廃棄物の合計量を記載してください。



数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	814.05 t	620.00 t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	814.05 t	620.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量	814.05 t	620.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t



(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。

不要物等発生量

有償物量

排出量

数値は、
上段:前年度実績
値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	5.35	5.00
②+⑧自ら再生利用を行った量		
⑤自ら熱回収を行った量		
⑦自ら中間処理により減量した量		
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		
⑩全処理委託量	5.35	5.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量		
⑫再生利用業者への処理委託量	5.35	5.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量		
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		

自ら直接
再生利用する量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③

自ら中間処理
する量

④

④のうち熱回収
を行う量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ

⑥

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

(産業廃棄物の種類:

金属くず

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。

不要物等発生量

有償物量

排出量

数値は、
上段:前年度実績
値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	0.22	t
	5.00	
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	0.22	t
	5.00	
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.22	t
	5.00	
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら直接
再生利用する量

②-----t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③-----t

自ら中間処理
する量

④-----t

④のうち熱回収
を行う量

⑤-----t

自ら中間処理した
後の残さ

⑥-----t

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦-----t

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧-----t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨-----t

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩-----t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪-----t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫-----t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬-----t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭-----t

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。

不要物等発生量

有償物量

排出量

数値は、
上段: 前年度実績
値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	797.22	t
	600.00	
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	797.22	t
	600.00	
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量	797.22	t
	600.00	
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら直接
再生利用する量

②-----t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③-----t

自ら中間処理
する量

④-----t

④のうち熱回収
を行う量

⑤-----t

自ら中間処理した
後の残さ

⑥-----t

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦-----t

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧-----t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨-----t

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩-----t

797.22
600.00

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪-----t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫-----t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬-----t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭-----t

(産業廃棄物の種類:

木くず

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。

不要物等発生量

有償物量

排出量

数値は、
上段: 前年度実績
値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	11.00	10.00
②+⑧自ら再生利用を行った量		
⑤自ら熱回収を行った量		
⑦自ら中間処理により減量した量		
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		
⑩全処理委託量	11.00	10.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量		
⑫再生利用業者への処理委託量	11.00	10.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量		
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		

自ら直接 再生利用する量
②
t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量
③
t

自ら中間処理 する量
④
t

④のうち熱回収 を行う量
⑤
t

自ら中間処理した 後の残さ
⑥
t

自ら中間処理によ り減量した量
⑦
t

自ら中間処理した後 再生利用する量
⑧
t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量
⑨
t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量
⑩
11.00
10.00
t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑪
t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量
⑫
11.00
10.00
t

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑬
t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
⑭
t